

令和2年度 大和高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	服務規律の遵守については2月の、物品の適正な管理については11月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。在宅勤務時の服務について注意喚起を行い、また夏休みに実施した備品の現物照合の意味を確認し事故を未然に防止するよう促した。
ハラスメント、わいせつ行為の防止	ハラスメント、わいせつ行為を未然に防止する。	パワーハラスメントについては9月の、スクールハラスメントなどの問題については、7月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。パワハラは職場環境に大きな影響を与える人権侵害行為であること、セクハラについては生徒から相談を受けた時の対応や二次被害の防止について確認し、事故を未然に防止することができた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰と不適切指導の発生を未然に防止する。	授業や生徒指導での不適切な発言や体罰などの不適切な指導については、4月・10月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。人権感覚を身に着けることにより未然に事故を防止することができた。
入学者選抜における事故防止	入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。	入学者選抜については、1月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。進路選択の重要な機会であり、その後の人生に大きな影響を及ぼす入学者選抜の業務手順やチェック体制を再確認し、細心の注意を払って業務に当たることで事故を防止することができた。
定期試験問題と成績処理に係る事故防止	定期試験問題の作成・管理及び成績処理に係る事故を未然に防止する。	定期試験や成績処理、教務手帳などの行政文書の取り扱いについては、6月・8月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。成績処理に係るミスは生徒の進路に大きな影響を与えてしまう場合があることを熟知させ、未然に事故を防止することができた。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書・推薦書等、進路関係書類の作成・発行に係る事故を未然に防止する。	調査書等、個人情報を含む行政文書の取り扱いについては、6月・9月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。保管や保存、誤送付を防ぐ点検体制の整備などについて確認し、未然に事故を防止することができた。
個人情報等管理の徹底	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流出を未然に防止する。	生徒の携帯電話番号やメールアドレスなどの個人情報の取り扱いについては、6月・9月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。業務を行うに際しては常に最新の注意を払い事故に繋げないことを確認し、未然に事故を防止することができた。

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	年末年始に多く見られる飲酒運転については、12月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。飲酒運転は絶対に許さないという職場の雰囲気醸成を確認し、教育公務員の視点から行政処分の実例に触れて注意喚起を促し、未然に事故を防止することができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	作業プロセスの簡素化・効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継ぎの徹底を図り、未然に事故を防止する。	3月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、「内部統制」の取組について研修した。組織目的の達成を阻害する事務上のリスクに組織的に対応することが、コンプライアンス意識の醸成につながり、県民の信頼に応えることができることを職員全体で確認できた。
会計事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	P T A会費などたくさんの私費会計を扱う学校現場における会計処理については、5月の事故防止会議で、県教委の作成した「啓発・点検資料」を活用して、職員研修を行った。注文、納品、支払いまでの適切な会計事務処理について確認し、未然に事故を防止することができた。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

概ねゼロプログラムについては目標を達成している。順次導入されているタブレットPCと関連機器については、耐震工事ともなうプレハブ校舎建設により保管場所が二か所に分かれているため管理の徹底が必要である。来年度8月と12月には再度耐震工事ともなう引越し作業があるので、個人情報の管理とともに備品の管理等を徹底していきたい。

また、様式が変更された調査書についてはミスなく発行することができた。要録点検についても、グループ・学年による点検体制が整えられているが、事故防止に向けてさらに厳しいチェック体制を充実させていきたい。

部活動については、コロナ禍の影響もあり例年通りの活動はできなかったが、加入率の高い学校として体罰防止や生徒の人権に配慮した指導に意識的に取り組んでいく必要があると思われる。